真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	特定地域型保育事業	担当課・係	健康福祉部　保育課　保育係
政策名　No	2　「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	1　子育て支援の充実		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	真岡市で子育てしたいと思う親の割合	%	98.5					維持

事業内容

・地域型保育事業
　令和６年度から第２子保育料免除事業開始により、施設で徴収していた保育料を給付費に上乗せして支給。
・地域型保育運営補助事業
　国・県の補助金等を活用した多様な保育サービスに対する補助を実施。
　各施設で実施する保育サービス（一時預かり、延長保育）実施に応じて費用を補助。
　市単独事業として、増加傾向にある障がい児や特別な支援が必要な児童の保育補助や使用済み紙おむつ処分費補助を実施。

前年度の課題（Check）

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業

・市内４か所（小規模保育施設３か所、家庭的保育施設１か所）並びに市外５か所に対する給付
　給付費　137,644,130円（国1/2、県・市1/4）

・地域型保育運営補助事業
　各施設で実施する保育サービスに応じて費用を補助。
　使用済紙おむつ処分費　135,100円（市単独）
　運営対策補助　868,000円
　・障がい児加算　768,000円（市単独）
　・要支援児加算　100,000円（市単独）
　運営費補助　221,000円
　・延長保育　196,000円（国・県・市1/3）
　・事業継続支援　25,000円（国・県・市1/3）

【２】結果と課題（Check）

市単独事業の運営対策補助について、令和６年度に事業の見直しを行った。
それまでは、各施設の利用定員に補助単価を加算した金額を運営対策補助金として交付していたが、令和７年度からは、使途を限定し、特別な支援が必要な児童の保育の充実を図った。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと

増加傾向にある特別な支援が必要な児童の受け入れに対する運営対策補助について、６月中に各保育施設での活用状況について内容を精査し、適正な補助単価の確認を実施。
補助単価の減額が可能な場合には、各保育施設に説明、周知を図り、実施計画に反映させる。

（2）長期的な計画で検討すること

増加傾向にある特別な支援が必要な児童の受け入れについて、臨床心理士等の専門家の派遣等を実施し、障がいの早期発見・早期療育により、児童の健全育成を支援するとともに、保育士の支援体制を整え、保育の質の向上を図る環境を整備する。